

第4回先端電子材料EXPO開催（1／16～18）

タテホ化学

PUREMAG、BALLMAG等出展

2013年1月16日～18日の3日間、東京ビッグサイトで開催された先端電子材料EXPOに出展。超高純度の酸化マグネシウムパウダー『PUREMAG FNM・G』に続き、新たに開発した超高純度水酸化マグネシウムパウダー『PUREMAG FNM・H』、『BALLMAG』、

『COOLFILLER』、それに『GENAUSILICA』など、新たな付加価値添加素材原料をお披露目した。

『PUREMAG FNM・H』はバインダレスの造粒技術で仕上げた超高純度の水酸化マグネシウム粒。サブミクロンの粒子に容易に分散して、『FNM・G』と同

様に透明導電フィルムなどのバンドギャップ調整などに期待できる。『COOLFILLER』は、既存品「CF2」に続く第二弾として、粒子をさらに小さくし、安価対応を可能にした「CF4」を開発した。高い熱伝導性で放熱性に優れるため、LED電球周りや車の部品などに適している。

『COOLFILLER』の特性は充填性能に優れる高性能酸化物系熱伝導性ファイラーである。樹脂への充填性に優れ丸みのある粒形状を実現した。水と反応し易

い酸化マグネシウムの特性を独自の表面処理技術で解決した。

『BALLMAG』は多孔質球状の水酸化・酸化マグネシウムで、製法により粒子形状は花卉状でマクロ孔が無数に形成されるため、吸液・吸着性能が期待できる。現在、用途を開拓中で、サンプル出荷を始めている。独自の花卉状構造によってミミクロンサイズに揃った無数のマクロ孔が与える巨大な内部空隙と比表面積により優れた吸液・吸着性能が特徴である。球状で粒径が揃って分散しやすい。

先端電子材料市場は、日本においてのニーズは、より一層の高品質化に向かっており、酸化マグネシウム、水酸化マグネシウムについても同様であることが展示会から感じられた。



ブース風景



BALLMAG、COOLFILLER



パネル展示